

新潟西部地域 「新之助」生育情報 No.2

令和7年6月10日
巻農業普及指導センター

- ◎ 今後は気温が高く、茎数が急増する見込み
- ◎ 目標茎数を確保したら速やかに中干し開始

【6月10日の生育データ(指標値比較)】

草丈「やや短い」 茎数「並」 葉数「やや遅い」 葉色「並」

区分	調査地点	移植日	草丈(cm)		茎数(本/m ²)		主幹葉数(L)		葉色(SPAD)	
			本年値	指標比%	本年値	指標比%	本年値	指標差L	本年値	指標差
分施	岩室(普及)	5月16日	25	89	223	124	6.0	-0.8	35.0	-1.0
全量 基肥	巻	5月16日	27	96	218	121	6.0	-0.8	34.9	-1.1
	岩室	5月8日	29	104	203	113	6.5	-0.3	37.2	1.2
	潟東	5月13日	25	89	221	123	6.9	0.1	31.3	-4.7
	中之口	5月12日	26	93	213	118	6.2	-0.6	38.9	2.9
	黒埼	5月11日	23	82	97	54	6.4	-0.4	31.9	-4.1
	西川	5月18日	24	86	95	53	6.2	-0.6	34.6	-1.4
	にいがた西	5月11日	29	104	200	111	6.3	-0.5	36.7	0.7
全体平均	5月13日	26	93	184	102	6.3	-0.5	35.1	-0.9	
指標値	5月15日	28		180		6.8		36.0		
近年値	5月13日	27		217		6.5		35.3		

※調査地点:JA新潟かがやき「越後中央」新之助研究会、JA新潟かがやき「みらい」新之助栽培研究会、普及センター気象感応ほ調査データ

※近年値:H29~R6までの平均値

【管理ポイント】

- 新潟地方気象台の1か月(6/7~7/6)予報では、向こう1か月の気温は高く、降水量は平年並みの見込み。
- 今後茎数が急増するので、目標の茎数を確保したら速やかに開始する。

【中干し開始のめやす(目標茎数)】

280 本/m²、 18 本/株

※この時期の茎数は、1日で1株当たり約1.5本増加

- 中干しは田面に小ヒビが入る程度で終了し、登熟後半のほ場の水持ちを維持するため、大ヒビがはいらないようにする。
- 溝切りは、生育調節や地耐力確保のためだけでなく、フェーン時等の迅速なかん水にも効果があるため、確実に行う。
溝は2.5m程度の間隔、深さ10cm以上で、必ず水口と水尻に接続する。
- 梅雨に入り、いもち病発生の危険性が高まるため、補植苗は速やかに処分する。

(次回調査は6月19日)